

令和8年度都立蒲田高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語科	言語活動の充実	国語での確に理解し、効果的に表現する資質・能力を育成する。	希望の進路の実現に向けて活動する(話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと)。
地歴公民科	資料を活用した「社会的な見方・考え方」の育成	・すべての科目において資料を授業の中で扱い、資料の読み取りについての指導を行う。 ・読み取った資料をもとに、どのような活用ができるかを検討する。	課題に対して自分の考えをもつとともに、それに対してどのような資料を活用できるかを自分で選び、要素を抽出できるようにする。
数学科	基本的な計算力を定着させる指導の充実	基本問題の反復と丁寧な解説で理解の土台を固める。	ペアワークや言語活動を充実させ、思考力と理解の深まりを促す。
理科	科学及び自然の事物に対する概念や原理、法則等の基礎的な用語や知識を定着させるための指導の充実	・授業で扱う用語や基礎的な概念や原理・法則等の復習と予習ができる課題を課し、科学に関する知識の定着を図る。 ・実験器具や操作方法、実験から導かれる結論等をワークシートを活用し、理解する。	学習内容を実生活の事象と関連付けて理解し、科学的に考察し、表現する力の育成を図る。 ⇒授業で学習する基本概念に関連する内容について調べ、整理し、レポート等で表現させる。
保健体育科	・ICT活用による運動技能の向上と体力づくりの推進 ・すべての生徒が主体的に取り組めるUD体育の実践	・タブレット端末で自己の動きを撮影・分析し、運動技能の課題を明確化する。 ・視覚支援や場の工夫により、運動が苦手な生徒も達成感を得られる授業を実践する。	・体育では、タイムシフトカメラ等で撮影した動画を基に、仲間と技術的なポイントを話し合い、運動技能の向上につなげる。 ・保健では、健康課題について端末を用いて情報収集・分析し、自己の生活改善に生かす力を育成する。
芸術科	表現活動の充実	表現で感じたことや、印象、心の持ちようを客観的に表現活動を通して他者に伝えられるようにする。	・協働的な学びの中で表現活動をすすめる。 ・他者の視点に立って思考・判断を行い、表現につなげる。
英語科	英語によるコミュニケーション能力の育成	英語による実際のコミュニケーションを意識した指導を行い、生徒に積極的に取り組ませる。	自分の思いを相手に伝え、相手の意見を正しく理解できるような生徒の育成をする。
家庭科	生きる力の育成	実習や体験を通じて、生きていくために必要な知識、技能を身に付ける。	授業で得た知識、技能を実社会で活かせるようにする。
情報科	情報リテラシーの習得、活用	・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定 ・グループ(協働学習)による探究的な実習を実施	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業を実施する。